

キャリア教育・実践的職業教育への取り組み

1. 実践的職業教育への取り組み

企業との授業等における連携の方針	I T 業界で業界標準といえるソフトウェア・アプリケーションの開発会社（ベンダー企業）、知名度の高い資格団体、および情報システム開発企業との教育連携をおこなっています。 実践的なカリキュラムを構築するために、企業へのヒアリングや委員派遣などをおこない、さらに実施する授業については、連携科目の設計⇒授業実施⇒授業で使用する教材の提供⇒授業終了後の科目評価など、P D C A サイクルによる管理をおこなっています。 このように、多岐にわたり対象企業との連携をおこなうことで、業界で利用価値の高い知識とスキルについて、実践的かつ専門的な授業として提供しています。
企業との授業等における連携の内容	ベンダー企業や資格団体との連携授業は、当該企業等が提供する教育プログラムにより実施しています。当校の担当講師は、教育プログラムが推奨するトレーニングや該当資格の取得をおこなっており、学生に対して理解度の高い授業を実施しています。 情報システム開発企業との連携授業は、企業から派遣される講師と授業内容の確認や学生のスキル到達目標を設定し、実習と演習中心の授業で実践的なスキルを習得できます。
連携企業名	日本オラクル株式会社
	ヤマハ株式会社
	株式会社エスシーシー
	宇宙技術開発株式会社
企業との連携科目	・ 実践システム開発演習 ・ ネットワークテクノロジー（応用） ・ Oracle データベース管理 など

2. キャリア教育・就職支援への取り組み

就職支援担当	・専任就職スタッフによるサポート ・キャリアサポーター、キャリアカウンセラー研修を受講済みの講師による指導
就職支援体制について	厚生労働省認可 無料職業紹介所 認可日：１９８６年７月１日
	・専任の就職指導スタッフとクラス担任による個別就職支援を実施 ・学園ネットワークによる求人情報の開示 ・自己分析、企業調査、企業選択、筆記試験対策、面接指導を実施
インターンシップについて	・ＩＴ系企業および一般企業でのインターンシップへ参加。